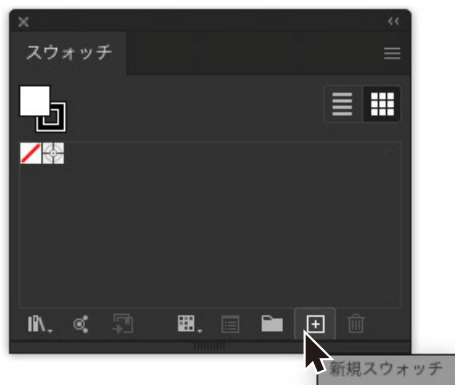


1

スウォッチパネルを表示します。新規スウォッチをクリックします。



- 蛍光ピンクを使いたい場合
スウォッチカラー名：FL Pink (M100 に設定)

2

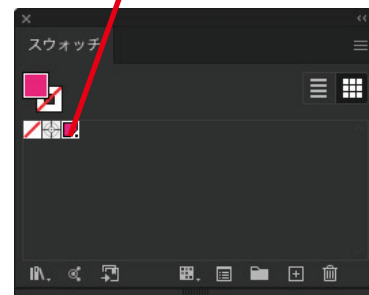
蛍光ピンクと使用する場合はスウォッチカラー名を「FL Pink」にしてください。カラータイプを「特色」に設定します。色の数値はお好みで問題ないです。

※スウォッチカラー名は、大文字小文字
半角を正確に入力してください。



3

蛍光ピンクにしたいオブジェクトへ登録したスウォッチカラーを割り当てればOKです。



注

グリーン系、茶系、グレー系、などマゼンタをあまり使用していない色や、3色(CMY)の混色に対する掛け合わせは、色がにごりますので不向きです。

応用編①

CMYに蛍光ピンクを混色することで鮮やかな発色にする/Illustrator

赤系、オレンジ系、黄系、青系、紫系の色は蛍光ピンクと混色することで通常のCMYより鮮やかな仕上がりにする事ができます。
「蛍光ピンクのオブジェクトの上に、掛け合わせたい色を「乗算」で重ねる。」これだけです！

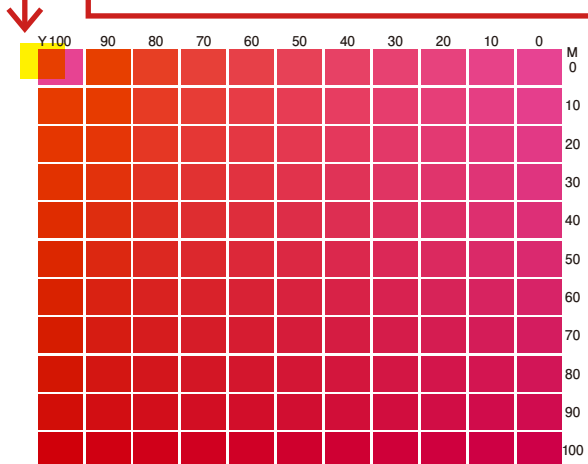


C + M + Y + K

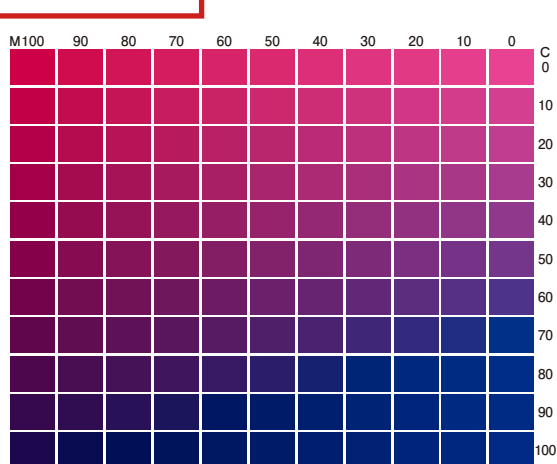


C + M + Y + K + FL Pink

このように「FL Pink」のオブジェクトの上にオブジェクトを重ねて「乗算」にするだけです。



M + Y + FL Pink

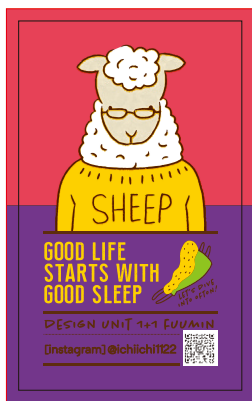


C + M + FL Pink



刷り上がり

Y 50



C 50

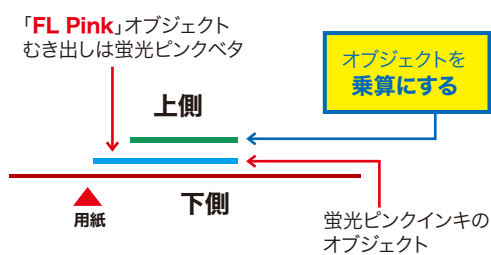
まずは仕上がりイメージでデザインを進めていきます。

蛍光ピンクにしたいオブジェクトに登録したスポットカラー「FL Pink」を割り当てます。蛍光ピンクの上にある混色にしたいオブジェクトを「乗算」にします。

ちなみにそれぞれのオブジェクトをバラすとこんな感じです。

Illustrator上でのパーツの構造①

蛍光ピンクパーツが1つの場合



Illustrator上でのパーツの構造②

重ね刷りパーツが2つ以上重なる場合

「FL Pink」オブジェクト
抜き出しは蛍光ピンクベタ

それぞれ乗算すると
全部透過した状態で
印刷されます。

重ね刷りにしたい
オブジェクトを
丸ごと「マスク」、
または「グループ」する
→乗算にする

